

単位認定と成績、G P A

1. 単位認定 [18. 学則 (抜粋) 参照]

(1) 単位認定について

- ・出席率が80%以上かつ評定値が60点(C評価)以上の場合、単位認定されます。
 - ・出席率が60%に満たない学生は、単位の取得ができずその科目は再履修となります。
 - ・出席率が60%以上かつ80%未満の場合または評定値が60点未満(D評価)の場合は、再試験を受けなくてはなりません。あるいは、担当教員の指示に従い補講やレポートの提出等を行わなければなりません。単位認定されない場合は再履修となります。
 - ・再履修者の再履修科目評価は「合格」または「不合格」のどちらかの判定とし「合格はC評価」「不合格はD評価」とします。
- また、怪我や病欠での再履修者においてもこれに準じます。

(2) 留年 (原級留置) について

- ・2年次から3年次に進級する段階で履修登録をした科目のうち、認定単位が68単位(必修科目58単位以外に、選択科目として基礎科目群2単位・職業専門科目群2単位・展開科目群6単位)以上に達しない場合は、原則留年とし、次年度の年間学費・諸費総額の納入を必要とします。
- ・4年次に認定単位が126単位(必修科目112単位以外に選択科目として基礎科目群2単位・職業専門科目群2単位・展開科目群10単位)以上に達しない場合は留年とし、次年度の年間学費・諸費用総額の納入を必要とします。
- ・留年すると、次年度に履修できる科目は上記の認定単位に足りない科目のみになり、卒業にかかる年数が4年を超えることとなります。

2. 成績 [18. 学則 (抜粋) 参照]

期末または年度末に科目担当教員が成績評価を行います。

年度末最終の成績評価で60点(C評価)以上の評定値を取得することが、単位取得の条件となります。出席率が60%未満の学生は再履修となります。

(1) 成績評価

評価	適用 (点)	単位
S (秀)	90~100	合格
A (優)	80~89	
B (良)	70~79	
C (可)	60~69	
D (不可)	0~59	不合格

(2) 成績発表

成績発表は、成績通知表として担任教員経由で連絡します。

《大学ポータルサイト成績照会機能について》 [36. 大学ポータルサイト 参照]

大学ポータルサイトには、リアルタイムで成績・出席状況等を確認する成績照会機能があります。この機能は、リアルタイム表示のため、成績発表前時点の成績も表示されますが、成績発表前の成績は確定前の状況値であり、成績発表後に表示された内容が、年度の確定成績となりますので注意してください。

(3) 成績問合せ

成績発表開始日から所定期間 (約1週間) 以内であれば問合せすることができます。

ただし、卒業予定者については、成績発表開始日より所定期間（約3日間）まで問合せに応じます。（詳細日程は大学ポータルサイトよりお知らせします）

なお、問合せの理由は、シラバスの「学生に対する評価」欄を参考にして客観的な事実のみを拠りどころとして記述してください。私情を交えた嘆願的文書は受け付けません。電話・メールによる受付はできません。

3. GPA制度と修学指導・表彰制度

本学では、学生の学修意欲向上と、教員による適切な修学指導支援のため、GPA (Grade Point Average)制度を設けています。

GPA制度の趣旨を十分理解し、卒業に向けてより効果的な受講を行いましょう。

(1) GPAとは

GPAとはアメリカ等の大学で多く使用される成績の評価方法で、S・A・B・C・Dといった成績評価をGP (Grade Point) と呼ばれる数値に置き換え、それにそれぞれの取得単位数を乗じたものを履修登録単位数で除して算出される1単位あたりの平均値です。仮に、単位を取得することができた科目の成績が良くても、一方で不合格となった科目の数も多ければGPAは高くなりません。したがって、GPAを高い水準に保つためには、履修登録した科目をひとつひとつ丁寧に学習し、それぞれ高い評価で合格することが必要となります。

(2) GP (Grade Point)

GPは、成績評価に基づき下表のとおりとします。

成績評価	S	A	B	C	D
GP	4	3	2	1	0

(3) GPA計算式

GPAは次の式により算出します。

$$\frac{(4 \times \text{Sの取得単位数}) + (3 \times \text{Aの取得単位数}) + (2 \times \text{Bの取得単位数}) + (1 \times \text{Cの取得単位数})}{\text{履修登録した総単位数}}$$

(小数点第4位以下四捨五入)

なお、GPAの算出は、すべての科目が対象となります。

また、GPAは「年度GPA」（年度ごとのGPA）と「累積GPA」（入学以後の通算GPA）の2つに分けられます。

(4) GPA制度のねらい

GPAは「4」に近いほど学習状況が良好であることを示します。

一方で、GPAが「0」に近ければ、履修登録単位数が過剰であったり、体系的・効率的な履修ができていなかったり等、学習状況になんらかの問題が生じている可能性があります。そういった問題を適宜発見し、教員の指導も交えながら、学生の以後の学習改善に繋げるためにGPA制度は有効であるといえます。

(5) 修学指導

大学は、GPAが著しく低くなった学生に対し、下記の修学指導を行うことがあります。

① 1年次終了時において累積GPAが1.00未満の者には、各学科が指定する教員が面談のうえ、次年度以降に向けた適切な修学指導を行います。

② 2年次以降の各年度終了時において累積GPAが1.00未満の者には、各学科が指定する教員が面談および修学指導を行います。

③ 前項の面談および修学指導を行った教員は、その結果を学科長に報告します。

GPA制度はあくまで学生の学習意欲向上を目的としているため、むやみに指導を行うことはありません。上記に定める学科の教職員の面談・修学指導により、以後の学習改善に向けた意欲を確認します。

(6) 表彰制度

成績優秀者に対し、表彰する制度を設けています。

《大学ポータルサイトでは以下も項目の閲覧が可能です》

「シラバス」・「学期GPA」・「年度GPA」・「累積GPA」

卒業要件と学位

1. 卒業要件（外国人留学生も共通）

卒業するためには、以下の条件を満たさなければなりません。〔18.学則（抜粋） 参照〕

- ① 4年間（編入生は3年間もしくは2年間）以上在学
休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年（編入生は3年）で卒業することができません。
- ② 学科で定められた卒業要件単位126単位以上（編入生は別途定める）を修得していること。
- ③ 卒業までに必要な学費およびその他の費用の全額を納入していること。
- ④ 教授会の意見を聞いたうえで学長が卒業を認定すること。

<卒業要件単位数>

科目区分	必修・選択	履修単位
基礎科目	必修	18単位
	選択	2単位以上
職業専門科目	必修	72単位
	選択	2単位以上
展開科目	必修	10単位
	選択	10単位以上
統合科目	必修	12単位

※本学は単位制を採用し、126単位以上を修得することを卒業要件とする。

2. 卒業制作・計画

卒業するためには「卒業制作・計画」（4年次配当）を修得しなければなりません。

「卒業制作・計画」の履修についての質問や相談がある場合は、履修登録をする前に教職員に相談してください。

●成績証明書兼卒業見込証明書

「卒業制作・計画」の科目を履修する学生で、卒業要件である126単位を4年次に修得できると推測される学生は、同時に卒業予定者となり、4年次になった4月から成績証明書兼卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※成績証明書兼卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業等に提出するものです。

3. 学位

卒業時に国際通用性のある学位として、国が認めたファッションの専門職の「学士」が与えられます。〔18.学則（抜粋） 参照〕